

岡崎市内景況調査結果(平成23年10～12月期分)

東日本大震災の影響が落ち着き、景況感は大幅に改善

調査対象：本所各部会役員・幹事事業所 450 企業

有効回答：186 企業（回答率 41.3%）

調査期間：平成 24 年 1 月 5 日～平成 24 年 1 月 17 日

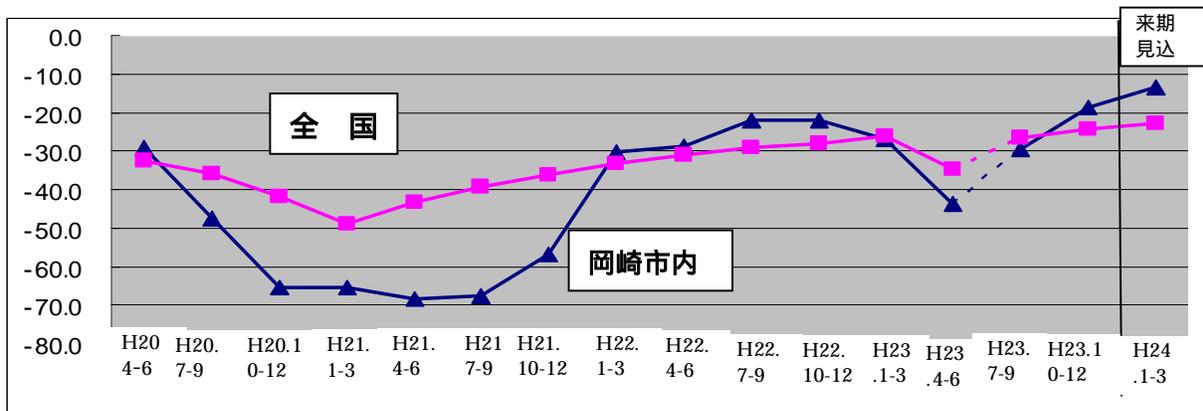
調査方法：ファクシミリによるアンケート方式

調査内容：(1) 前年同期(平成 22 年 10～12 月)と比べた今期の状況

(2) 今期と比べた来期(平成 24 年 1～3 月)の先行き見通し

業種	回答企業数	構成比
製造業	58	31.2%
建設業	37	19.9%
小売・卸売業	48	25.8%
サービス業	43	23.1%
合計	186	100.0%

市内の景況全体の概要



全国平均は、(独)中小企業基盤整備機構が発行する中小企業景況調査報告書より引用
(全国の商工会、商工会議所の経営指導員、及び中小企業団体中央会調査員による聞き取り調査。)

岡崎市内の今期(平成23年10～12月)の景況DIは、前期に引き続き 18.8ポイント(10.6ポイント改善)で改善した。

今期景況DIは、今期は建設業が以外は全ての業種でポイントが改善していた。

今期景況DIは平成23年1月～3月期以降、東日本震災の影響により製造業の生産の落ち込みなどから全国平均を下回っていたが、今期でようやく全国平均を上回るまで回復した。

来期(平成24年1～3月)の景況DIは、13.4(5.4ポイント改善)。円高の影響や製造業の海外シフトなど今後の先行きを懸念する声が全業界で見られるものの、回復基調は続く見通しであった。

【データ：全業種】

	前年同期比(前期) (H23.7-9月期)	変化幅	前年同期比(今期) (H23.10-12月期)	変化幅	来期の見通し(来期) (H24.1-3月期)
景況	29.4	10.6	18.8	5.4	13.4
売上額	19.0	13.1	5.9	3.7	2.2
資金繰り	14.1	1.2	12.9	0.5	12.4
採算(収益)	31.9	9.3	22.6	9.7	12.9

売上額は、建設業では完成工事(請負工事)額